



およその大きさ 100×60×30cm



←表面
↓側面



形の特ちょう (ニックネーム)

色の特ちょう

- ・ 全般的に濃い緑色だが白い結晶が細かく散っている

表面の特ちょう

- ・ 白色の部分と緑黒色の部分がある
- ・ 緑黒色の部分は大きな粒子が壊れて細片になっているように見える

側面の特ちょう

- ・ 白色と緑黒色の層が重なって横縞をつくっているように見えるが、どちらも破碎されているようにも見える

含まれているもの

- ・ 暗緑色の部分は斜光線で結晶の集合体であることが判るが結晶形までは判らない

その他の特ちょう

- ・ 白・緑ともカッターナイフでは傷がつかない

メモ

岩石名

結晶片岩
(苦鉄質片岩または緑色片岩：広域変成岩)

【観察メモ】

* 苦鉄質という言葉

「苦鉄」とはマグネシウム(苦土)と鉄のこと。苦鉄質とはマグネシウムや鉄の成分が多いという意味。マグネシウムや鉄は有色鉱物に多く含まれるので、苦鉄質片岩は「黒っぽい結晶片岩」ととらえてもよい

* 苦鉄質と対をなす語句は珪長質